

令和4年12月27日

日本移植学会 理事長 江川 裕人
 日本臨床腎移植学会理事長 剣持 敬
 日本内科学会 理事長 南学 正臣
 日本腎臓学会 理事長 南学 正臣
 日本透析医学会 理事長 武本 佳昭

イスタンブール宣言 2018 5学会共同声明

1



一般社団法人
日本内科学会
The Japanese Society of Internal Medicine

[パーソナルウェブ ログイン](#)
[お問い合わせ](#)

会員ID、パスワードについて

講演会・各支部

専門医制度

刊行物

専門医部会

日本内科学会について

[HOME](#)・[お知らせ](#)・[関連学会・団体等](#)・[イスタンブール宣言2018 5学会共同声明について](#)

お知らせ

イスタンブール宣言2018 5学会共同声明について

会員各位

日本内科学会理事会にて承認したイスタンブール宣言2018の同意について、12月27日の5学会（日本内科学会、日本腎臓学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会、日本透析医学会）の共同声明記者会見をもって、社会に発信いたしました。つきましては、学会会員の皆様におかれましても、この宣言の遵守をお願いし、日本の臓器移植医療の理解と発展をお願いするものであります。

[イスタンブール宣言2018 5学会共同声明](#)

[臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言2018年版（日本語訳）](#)

一般社団法人 日本内科学会
理事長 南学 正臣

カテゴリー

- 地方会・各支部
- 奨励費公募
- メンテナンス
- 日本内科学会
- 関連学会・団体等
- 年次講演会
- 本会主催講演会
- 生涯教育講演会 A・B・Cセッション
- 専門医制度
- 刊行物
- 専門医部会

2

一般社団法人 日本腎臓学会
Japanese Society of Nephrology

日本腎臓学会について | 一般のみなさまへ | 医療従事者のみなさまへ | English

日本腎臓学会について | 一般のみなさまへ | 医療従事者のみなさまへ | English

Search Here

日本腎臓学会概要
理事長ご挨拶
第二次5カ年計画冊子 (PDF)
診療ガイドライン

会員向け

イスタンブール宣言2018 5学会共同声明

日本腎臓学会会員各位

日本腎臓学会理事会にて承認したイスタンブール宣言2018の同意について、12月27日の5学会（日本腎臓学会、日本内科学会、日本移植学会、日本臨床移植免疫学会、日本透析医学会）の共同声明記者会見をもって、社会に発信いたしました。つきましては、学会会員の皆様におかれましては、この宣言の遵守をお願いし、日本の臓器移植医療の理解と発展をお願いするものであります。

→イスタンブール宣言2018 5学会共同声明(PDF)
→臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言2018年版(日本語訳20180806)(PDF)

一般社団法人日本腎臓学会
理事長 南学 正臣

3

一般社団法人 日本透析医学会
The Japanese Society for Dialysis Therapy

ホーム | お問い合わせ | English

学会について | 学術集会・総会 | 学会誌 | ガイドライン・刊行物 | 専門医制度 | 一般の方へ

TOP > お知らせ > イスタンブール宣言2018 5学会共同声明

学会

- 日本透析医学会の歴史
- 理事長挨拶
- 入会について
- 定款・規程集
- 事業資料
- 名簿
- 学会賞（木本賞）・奨励賞
- 日本透析医学会統計調査・学術研究
- わが国の慢性透析療法の実況
- 利益相反（COI）
- 男女共同参画について
- TSUBASA PROJECT
- 事務局からのお知らせ
- 会告

イスタンブール宣言2018 5学会共同声明

令和4年12月27日

| | |
|------------|-----------|
| 日本移植学会 | 理事長 江川 裕人 |
| 日本臨床移植免疫学会 | 理事長 剣持 敬 |
| 日本内科学会 | 理事長 南学 正臣 |
| 日本腎臓学会 | 理事長 南学 正臣 |
| 日本透析医学会 | 理事長 武本 佳昭 |

イスタンブール宣言2018 5学会共同声明

20世紀の最大の医学的進歩の一つである臓器移植は、世界中で数十万人の患者の命を救い、その生活の質を改善してきた。ドナーとその家族による数え切れない莫大な行為と、ひたむきに努力してきた医療専門職による多くの科学的・臨床的進歩によるものである。このような功績の中で、臓器取引や臓器搬出のための人身取引、また貧しく弱い立場の人々から臓器を購うために海外に赴く患者など、数多くの事例が報告されている。

この非倫理的な行為による突破で拡大する問題に取り組むため、国際移植学会（TTS）および国際腎臓学会（ISN）は2008年4月にイスタンブールでサミット会議を開催し、イスタンブール宣言を採出した。以後両宣言は135カ国以上の国の臓器移植関連学会や国際的医学学会、政府機関によって支持されてきた。両宣言を広め、各国の取り組みを見守るためにTTSとISNは2010年にDeclaration of Istanbul Custodian Group (DICG)を設立し、10年を経た2018年には臓器取引や移植ツーリズムに関連した課題の変遷に対応し、両宣言の2018版が採択されている。その骨格は臓器取引（organ trafficking）、臓器搬出のための人身取引（trafficking in persons for the purpose of organ removal）、移植のための渡航（travel for transplantation）、移植ツーリズム（transplant tourism）は非倫理的であり、臓器提供と臓器移植の自給自足（self-sufficiency in organ donation and transplantation）、臓器提供における金銭的中立性（financial neutrality in organ donation）が守られるべきとされる。

わが国では1997年10月に「臓器移植法」が施行され、本年で25周年を迎える。今回日本移植学会は日本臨床移植免疫学会、日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会と共に、イスタンブール宣言2018版を共同で承認した。移植の意思は、非倫理的行為や排他的な行為に依存することなく拡大され、公平に、それを必要とする人々に分配されなければならないという、臓器移植専門家と関連分野の5学会の決意をここに表明するものである。

4

一般社団法人日本臨床腎移植学会
Japanese Society for Clinical Renal Transplantation

検索

HOME | 理事長挨拶 | 学会 | 沿革 | **お知らせ** | 専門医申請について | ガイドライン | 会員情報閲覧・変更 (ログインページ)

お知らせ



HOME > お知らせ

お知らせ

お知らせ

■ **istanbul宣言2018 5学会共同宣言**に関して

日本臨床腎移植学会理事会にて承認いただいた、istanbul宣言2018の同意については、12月27日の5学会（日本内科学会、日本腎臓学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会、日本透析医学会）の共同声明記者会見をもって、社会に発信いたしました。つきましては、学会会員の皆様におかれましても、この宣言の遵守をお願いし、日本の臓器移植医療の理解と発展をお願いするものであります。

- [istanbul宣言 2018 5学会共同宣言 \(PDF\)](#)
- [istanbul宣言2018 和訳 \(PDF\)](#)